



各 位

2023年5月12日

上場会社名 福留ハム株式会社
 代表者 代表取締役社長 福原 治彦
 (コード番号 2291 東証スタンダード市場)
 問合せ先 常務執行役員 経理部長 深町 誠
 (TEL 082-278-6161)

減損損失の計上及び通期業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2023年3月期(2022年4月1日～2023年3月31日)において、下記のとおり減損損失が発生したとともに、2022年11月11日に公表いたしました「2023年3月期通期の業績予想値」と実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。

記

1. 減損損失の計上について

当社グループの固定資産について、「固定資産の減損に係る会計基準」に基づき、現在の事業環境及び今後の業績見通し等を勘案し、将来の回収可能性について検討いたしました。

その結果、回収可能性が乏しいと認められた固定資産について、減損損失8億30百万円を計上いたしました。

2. 連結業績予想値と実績値との差異

(1) 2023年3月期 連結業績予想値と実績値との差異 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	24,000	△ 290	△ 250	△ 270	△ 80.91
今回実績 (B)	24,895	△ 365	△ 336	△ 1,194	△ 357.95
増減額 (B-A)	895	△ 75	△ 86	△ 924	
増減率 (%)	3.7	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	24,420	△ 372	△ 327	△ 718	△ 215.20

(2) 差異の理由

売上高につきましては、ブランド豚の販売強化による取扱量の増加や加工品の価格改正にともなう販売単価の上昇により増加いたしました。

営業利益及び経常利益につきましては、原材料価格やエネルギーコストの継続的な上昇によるものであります。親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、減損損失8億30百万円を計上したことによるものであります。

3. 個別業績と前期実績値との差異

(1) 2023年3月期 個別業績と前期実績値との差異 (2022年4月1日～2023年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前期実績 (A)	24,420	△ 374	△ 326	△ 701	△ 210.22
今回実績 (B)	24,895	△ 373	△ 338	△ 1,194	△ 357.91
増減額 (B-A)	475	1	△ 12	△ 493	—
増減率 (%)	1.9	—	—	—	—

(2) 差異の理由

当期純利益の差異につきましては、回収可能性が乏しいと認められた固定資産について、減損損失8億30百万円(前期は5億50百万円)を計上したことによるものであります。

以上